

成長産業が育つ土壌をつくる

佐賀県

古川 康知事に聞く 企業誘致積極化の狙い

佐賀県が企業誘致活動を積極化している。企業誘致本部を強化し、地震や津波の少なさを強みに、企業のリスク回避ニーズを取り込む狙いだ。さらに2016年度に向けて、中・大型工業用地の新産業集積エリアの整備を加速する。古川康知事にインタビュー。佐賀県の企業誘致戦略と産業動向を見ていく。



企業ニーズを反映



佐賀県内の障害者雇用率は2.13%と、山口、福井、奈良の各県に次いで全国4位(2012年6月時点)。法定雇用率達成企業は69.4%と全

人材育成と障害者雇用

国1位(同)だ。県健康福祉本部に置いた就労支援室が、企業や福祉施設などと連携して支援にあたる。あえて雇用労働部門と切り離すことで、企業と障害者のニーズをコーディネートすることに成功しているという。

日本の成長をリードする

2013年度は本部長級の企業立地統括監を設けるなど、誘致に力を入れています。『佐賀いいから、あんたんとこおいでよ』という感じで、呼んで頂いた例が多い。九州の流通を考えると、九州の中心地は福岡、佐賀、長崎の西九州エリアで、東部の熊本が流通のクロスポイントになる。この立地を生かした誘致ができれば、加えて新しい分野の芽も出てくる。

進む用地整備

手厚い補助制度も

新産業集積エリアは、0.4〜0.7武雄(武雄北自動車や食品・医薬品)新エネルギーなど成長分野の立地を担って分譲。造成を進めている。現在は、唐津(第一期)〜11。今後は有田と鳥栖、唐津



新産業集積エリア(武雄)

「南海トラフ」想定津波高ゼロ

低い地震リスク

佐賀に目を向けると、うたの、立地メリットと何ですか。『タラップで一番反応が大きいのが、地震発生件数が全国一少ないこと、南海トラフ巨大地震でも想定津波高はゼロだ。』

佐賀に目を向けると、うたの、立地メリットと何ですか。『タラップで一番反応が大きいのが、地震発生件数が全国一少ないこと、南海トラフ巨大地震でも想定津波高はゼロだ。』

九州のクロスポイント 佐賀県。

充実の交通体系

伊万里港 唐津港 国際海上輸送の重要港湾

佐賀大和IC 福岡県 鳥栖JCT

西九州自動車道 有明海沿岸道路 大分県 大分

1時間圏内 長崎自動車道 有明 佐賀空港

佐賀空港 佐賀駅から車で30分 福岡空港・長崎空港も 佐賀駅から1時間

高速道路利用で 福岡・長崎・熊本は 1時間圏内 九州ほぼ全域が 3時間圏内

南海トラフ地震 津波想定ゼロ!!

数値は、各都道府県内で津波高が最大になる市町村の想定津波高(m)

都道府県	市町村	想定津波高(m)
佐賀	津波想定なし	0
福岡	福岡	4
山口	山口	5
広島	広島	4
岡山	岡山	4
兵庫	兵庫	9
香川	香川	5
徳島	徳島	24
愛媛	愛媛	21
高知	高知	34
長崎	長崎	4
大分	大分	15
熊本	熊本	4
宮崎	宮崎	17
鹿児島	鹿児島	13
鹿儿島	鹿儿島	13
東京(区部)	東京(区部)	3
茨城	茨城	6
神奈川	神奈川	10
千葉	千葉	11
愛知	愛知	22
三重	三重	27
和歌山	和歌山	20
静岡	静岡	33
大阪	大阪	5
奈良	奈良	22
京都	京都	27
福岡	福岡	4
佐賀	佐賀	4
熊本	熊本	4
宮崎	宮崎	17
鹿児島	鹿児島	13
鹿儿島	鹿儿島	13
東京(島嶼部)	東京(島嶼部)	31

佐賀県 農林水産商工本部 企業立地課

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1-1-59

TEL (0952) 25-7097 FAX (0952) 25-7384

E-mail: kigyouricchi@pref.saga.lg.jp

佐賀県 企業立地 検索

佐賀県 http://www.pref.saga.lg.jp/